

「地域づくりオープンカフェ」

1 趣旨・目的

過疎・中山間地域において、大学生グループによる集落の実態調査及び（前年度の調査結果を基にした）実証実験が行われ、地域の魅力発見や地域資源の活用方法の模索など、グループごとに特色のある活動が実施されてきた。

また、実証実験終了後も集落との交流を継続する大学生等グループもあり、集落との絆をより強くし、一層の集落活性化が図られている。

以上の活動について、各グループの学生や集落住民、地域づくり実践者、さらには一般県民等が集い意見を交わすことにより、各グループの活性化策に磨きをかけるとともに、集落の活性化に向けた住民主体の取組を促進することを目的とし、活動報告会を開催。

2 開催日時

令和2年2月8日（土）10時00分～15時45分 ※16:00クローズ

3 会場

ザ・セレクトン福島3階「吾妻」（福島市太田町13-73）

4 司会者

FMポコ パーソナリティ 和合 敦子氏

5 当日の流れ

(1) 発表

各グループがスクリーンを使用し活動報告を行う。発表後は会場全体から質疑及び意見交換を行うことで活動のブラッシュアップにつなげる。

① 実態調査（1年目）グループ

集落の概要や現状、地域資源の紹介、集落活性化策案

② 実証実験（2年目）グループ

集落の概要や現状、地域資源の紹介、昨年度提案した活性化策の概要と本年度の実証実験の内容及び結果

③ 交流継続（3年目以降）グループ

集落の概要や現状、地域資源の紹介、本年度の活動内容

(2) 記念撮影

集合写真を撮影し、その後、大学生等参加者で自由交流（15分程度）

6 タイムスケジュール

9:45	開場
10:00～	開会、挨拶 ※以降、司会者による進行
10:10～	第1部発表（1年目：9グループ） 約80分 ※1グループ9分交代（発表5分+入れ替え2分+予備2分）
11:30～	第1部全体質疑
11:40～	昼食休憩（60分程度）
12:50～	第2部発表（2年目：9グループ） 約80分 ※1グループ9分交代（発表5分+入れ替え2分+予備2分）

14:10～	第2部全体質疑
14:20～	休憩（10分程度）
14:30～	第3部発表（3年目以降：7グループ） 約60分 ※1グループ9分交代（発表5分+入れ替え2分+予備2分）
15:30～	第3部全体質疑（1部、2部の質疑も可）
15:45～	閉会 →記念撮影 →自由交流15分程度
16:00	撤収

7 発表順

【第1部：1年目 実態調査グループ】

- ① 駒沢女子大学 エノモトスタジオ ー磐梯町大寺五区
- ② 東洋大学 法学部 箕輪ゼミ ー矢祭町内川区
- ③ 北海道教育大学岩見沢校 アウトドア・ライフコース ー南会津町針生地区
- ④ 東洋大学 国際観光学部 佐々木茂ゼミ ー南会津町木賊地区
- ⑤ 跡見学園女子大学 地域文化研究会 ー川内村第7行政区
- ⑥ 会津大学短期大学部 OOTOプロジェクト ー会津若松市大戸地区
- ⑦ 獨協大学 地域活性化プロジェクト 米山チーム Part.2 ー小野町谷津作行政区
- ⑧ 筑波大学 国際資源開発経済学研究室 農村開発研究班 ー二本松市戸沢7区
- ⑨ 広島大学 ボランティア団体アイリス ー葛尾村下葛尾地区

【第2部：2年目 実証実験グループ】

- ① 東京藝術大学デザイン科大学院 映像・画像研究室 ー昭和村野尻集落
- ② 福島大学 岩崎ゼミ ー西会津町奥川地区
- ③ 福島大学 経済経営学類 林ゼミナール 郡山研究班 ー郡山市逢瀬・湖南町
- ④ 上智大学 学生地域社会研究グループ ー川内村第4行政区
- ⑤ 立命館大学 サトゼミ・エンタープライズ ー古殿町下松川地区
- ⑥ 東北文化学園大学 エコ・カフェ萩川 ー二本松市針道九区
- ⑦ 獨協大学 地域活性化プロジェクト 大坪チーム ー喜多方市本村地区
- ⑧ 拓殖大学 政経学部 長友昭ゼミナール ー南会津町湯ノ花地区
- ⑨ 近畿大学 社会連携・国際学部合同チーム ー川俣町町組行政区

【第3部：3年目以降 交流継続グループ】

- ① 近畿大学 片岡ゼミ ー川俣町山木屋地区
- ② 桜美林大学 渡辺ゼミ ー相馬市松川港町町会
- ③ 獨協大学 大竹ゼミ ー南会津町耻風地区
- ④ 獨協大学 セガワ応援隊 ー田村市瀬川地区
- ⑤ 宇都宮大学 里計画研究会 ー二本松市水舟区
- ⑥ 日本大学工学部 建築計画研究室 ー南会津町大桃集落
- ⑦ 福大ゆがわ調査隊（福島大学） ー湯川村堂畑地区